

「静浦地区小中一貫校の施設概要」説明会 会議録

- ・と き：平成 24 年 6 月 14 日（火） 19：00～20：40
- ・ところ：静浦地区センター大会議室
- ・参加者：32 人（内訳（※重複あり）保護者就学前 6・小学校 22・中学校 7、その他 2）
- ・学 校：小学校（校長、教頭）、中学校（校長、教頭）
- ・事務局：沼津市教育委員会事務局 教育企画室、学校管理課

●教育企画室長あいさつ

●説明

資料に基づき「静浦地区小中一貫校の施設概要」の説明

●質疑応答

- Q 統合前の校旗など記念のものは、どこに飾るのか。
- A 1 階の図工室前に展示ギャラリーを設けて展示します。
- Q 仮設プレハブを平成 25 年度に壊すとのことだが、放課後児童クラブはどうなるのか。
- A 学校の空き教室等で代替を設ける予定です。来年度のクラス数が分からないため、現段階で代替場所は確定しておりませんが、途切れることがないように調整して代替施設は設けることにしています。
- Q 隣接校選択制の扱いはどうなるのか。
- A 通学区域審議会を開催して決定することになるため、現段階では決まっておりませんが、早めの方針を出したいと考えています。
- Q 本会の知らせを組回覧で知ったが全戸配布してほしい。校名募集・アンケートは、そのようにしてほしい。
- A 校名募集・アンケートは学校や地区センターに用紙を置くとともに、市HPから用紙をダウンロードできるようにします。
- Q 中学校が静浦西小に移るときも話したが、中学生のバスケットコートの様子が変更になるが、改修などの対応は。
- A 体育館は平成 11 年に建設したばかりで、市全体の学校施設の改修における優先順位を考える必要があります。施設計画において現行のまま使用することとしており、改修は考えていません。

- Q 子どもは「裏の高台」と「新校舎の屋上」どちらに避難するのか。
- A 津波だけでなく火災や崖崩れなどの災害も考慮する必要があり、状況に応じて避難できるよう複数の避難場所を設けています。
- Q 大グラウンドが縦長で運動会などでの使用はどうか。本部のところにコンセント等はあるのか。
- A 運動会での使用を見込み、コンセントや放送設備は設けています。
- Q 平成 22 年 9 月の基本計画では、大グラウンドの夜間照明と小グラウンドの芝生化が盛り込まれているが、何故、取り止めになったのか。
- A 夜間照明については、現・静浦中と旧・静浦東小のグラウンドに現在設置されており、跡地利用が決まるまでは、地域の社会体育で使用できるグラウンドが残ることから、今回の一貫校の大グラウンド整備に合わせての夜間照明設置は見送ることとしました。小グラウンドの芝生化については、検討したところ、維持管理に過剰な手間や経費がかかり、芝生保全のため子どもたちに使用制限を強いる状況も発生するため、見送ることとしました。
- Q 元々、静浦小には夜間照明が必要であると思うが、検討してもらえるのか。無いと部活ができず子どもが他の学校に逃げってしまうのではないのか。
- A 子どもは暗くなる前に帰宅させるため、学校の部活動で夜間照明を使うことはありません。設置するか否かはあくまで必要性に基づくもので、一貫校が開校して、現・静浦中と旧・静浦東小のグラウンドを自由に地域の社会体育等で使用できる状態が生まれ、その段階での使用頻度等を把握した上で検討を行います。
- Q バス通学の特例援助は開校後も継続されるのか。
- A 現在のバス通学に対する援助は一貫校開校までの特例であるため、現段階で継続するとの答えはできません。
- Q 文部科学省から「通学路における緊急合同点検」が出ていると思うが、国道沿いは歩道も狭く、また交通量は非常に多いため、事故も多数報告されている。静浦地区の全域を危険個所として報告してほしい。歩道を拡幅してほしい。雨でゴミ出しされた状態で、傘をさして歩いてみるとよく分かる。
- A 静浦に限りませんが、現在の議会でも通学路の質問が出ており、学校や地域の協力をいただきながら調査しています。補修などについては、必要に応じて対応します。静浦地区では、最近、自治会と協力して危険な建物が撤去されました。また、統合時に浜通りを通学路として指定して整備するなどの対応を行ってきています。

Q 慢性的に交通量が多く歩道拡幅は現実的には難しいため、是非とも、バスの通学援助は継続してほしい。他地区とのバランスはあるかもしれないが、道路が安全になるまでとの説明で特例援助を始めたと思う。

A 検討していきます。

Q 大グラウンド工事が遅れているとのことだが、早期完成に向けた努力は。

A グラウンドの新設で多様な工事が輻輳するため、工程調整などを行い、できるだけ早い完成を目指しています。

Q 本日、参加している中には隣接校を考えている者もいる。小中一貫校の特色となるソフト面、教育内容を教えてほしい。

A 現段階で詳細なことは言えませんが、基本計画で出している「9年間の連続性」「ことば」「地域」の3本柱などが特色となります。発表できる段階で、改めて、このような会を開いて説明します。

<閉会後の「意見・質問票」について>

Q 東小に通っていた頃は近かったが今は遠いので、定期券の補助はなくさないで欲しいです。

A (※本会にて回答済み)

Q 本説明会には、自治会及び小中一貫校推進委員が出席していませんでした。出された意見を推進委員も聞き、対応していただきたいと思う。良い意見の出た会合でした。どうしてかく重要な説明会に推進委員は出席しなかったのか。

A 本説明会は教育委員会の主催であり、保護者等への説明会として開催したため、推進委員に対して出席依頼は行っておりません。推進委員会に対しては、今回の意見等を会議録にまとめてお伝えします。

Q プールを1年間使用できない期間があるようですが、工事を早くして、平成25年度から使用できるようにはできないですか。子どもたちや遠泳大会のことを考えると、25年度から使用可能にしてほしい。

A プール工事については、全体の工事工程等の関係から、平成24年度での実施は困難です。そのため、平成25年度は近隣のプールで水泳授業ができるよう調整を行う予定です。

Q ①夜間照明の設置、②通学に対する補助、③体育館のバスケットコートが楕円形ライン修正については、使用状況を見るというのはやらないと同じなので、住民の切なる要望として受けとめるべきではないですか。校舎は望外の立派な新しいものができるようですが、防災に考慮した設備設計も沢山盛り込まれています。素人で分かりませんが、防災の為の予算もこの建物に注ぎ込まれているのでしょうか。せっかく開校するときに①～③のことは叶えていただけないでしょうか。

A (※本会にて回答済み) ③に関しては、中学校でバスケットの部活動もあることから今後、学校と協議を行います。